

新しい丹波黒大豆エダマメに大きな期待が寄せられています

農林センターでは、盛夏期に出荷できる丹波黒大豆エダマメの品種改良に取り組んでおり、8月20日に流通関係者を交えて、来年度からの試験出荷に向けた検討会が当センターで開催されました。

試食した結果、流通関係者から「8月の時期で、丹波黒大豆に匹敵する大きな莢は魅力的。甘みがあり美味しく、他のエダマメには負けない。」と高い評価が得られました。今後、品種登録出願を行うとともに、収穫期間の拡大や安定生産のための技術開発に取り組むこととしています。



生育状況の検討（左）と試食の様子（右）